

素直な負けず嫌い

教務主任 木村 康彦

プロボクシングの世界で今、井上尚弥選手が注目を集めています。プロ入り後は無敗で世界チャンピオンとなり、先日も生きる伝説ノニト・ドネア選手と対戦しましたが、2ラウンドTKOと圧倒的な強さで完勝し、日本人初の3団体王座統一を見事成し遂げ、世界から「モンスター」と呼ばれて賞賛されています。そんな井上選手は以前、1階級上の普通の世界チャンピオンと対戦するか、2階級上の大変強い世界チャンピオンと対戦するか選択できる機会に恵まれました。そのときも強くなるためにあえて後者への挑戦を選択し、そして見事勝利されております。

こんな劇的な人生を歩んでいる井上選手ですが、「天才だからできること」と思う方も多いかもしれません。しかし、井上選手が所属するボクシングジムの会長である大橋秀行氏の話によると、同年代には井上選手以上に素質のある子がいたそうです。その子は素質に恵まれるも地道に努力を続けることができず、大成せず早々とボクシングは辞めてしまったそうです。逆に、井上選手がこれほど大成できたのは、天才だからではなく、「秀才が努力して天才を超えたからだ」と話されています。これはボクシングやスポーツだけでなく、学問や仕事の道でも同じです。努力を続けるのは困難なことです。だからこそ続けられたときには、間違いなく大きな力が得られるものなんです。しかし、ただ努力を続ければ何とかかなるというわけでもありません。

無敗の世界王者井上選手もプロ入り後は勝っても苦戦したり、アマチュア時代には完敗もしたりしています。高校時代に大学生と対戦したとき、相手からのボディブローを執拗に受けてしまい、判定負けを喫したそうです。ただ負けた後が違います。トレーナーである父・井上真吾さんと1年かけて研究し、特訓を重ね、その負けた相手と次に対戦した時には、相手のボディブローを受けず、逆にボディブローで相手を圧倒し勝利しました。また、そのとき身に付けたボディブローは今も得意技として、多くの世界チャンピオンを漫画みたいに一瞬でマットに沈めています。

このように井上選手は負けず嫌いでも、人の意見に耳を傾けることができるのが長所であり、大橋会長はこんな井上選手の性格を「素直な負けず嫌い」と称賛されています。ただの頑固な負けず嫌いだと、人の話をなかなか聞けずに伸び悩みますが、井上選手は敗戦や苦戦の後に他の人という相相談したり話を聞いたりして考えを深め、そして同じ過ちを繰り返さないように努力を続け、さらなる成長によりライバルを越えていくことができたそうです。

つばき学舎の子供たちも勉強やスポーツ等をしていて、苦労したり悔しかったりするときがあるでしょう。そんなときこそ「素直な負けず嫌い」が大切かもしれません。周りの人に相談して素直に意見を聞くことで、努力する道をしっかり定めることができれば、その後の頑張りが無駄になることはなく、大きく成長して苦労を乗り越えたり、幸せをつかみ取ったりできるようになるでしょう。そして、そんな子供たちのために、子供たちから相談を受けたときは、我々教職員や保護者の皆様は、「そのぐらい自分で考えられ」や「このぐらいなんとかなっちゃ」と誤魔化さず、しっかり耳を傾けていろいろと話をすることで、子供たちを熱く応援していきたいものです。

7月の行事予定

1日 (金) 子供会役員認証式 校外学習〔松島浄水場〕(4年)	18日 (月) 海の日
3日 (日) 育成会親子活動	19日 (火) 行燈作り(蠟引き)
5日 (火) 期末考査(中等部)〈～7日〉 椿学習〔椿館〕(4年)	22日 (金) 誕生会食 クラブ
8日 (金) 委員会(前期終了)	23日 (土) 富山県民体育大会 (バドミントン部)
11日 (月) 集金振替日 交流学習(7年)	25日 (月) 「14歳の挑戦」生徒事業所訪問
12日 (火) いのちの教育(8年)	26日 (火) 行燈作り(色付け)
13日 (水) 壮行会(県選、県体)	27日 (水) 9年生部活動引退日 子供会総会
15日 (金) アルミ缶回収 委員会(後期開始)	28日 (木) 保護者会 子供会レクリエーション
16日 (土) 富山県中学校総合選手権大会 (バドミントン部)〈～17日〉	29日 (金) 終業式 給食終了 地区子供会 壮行会(北信越) 全校集団下校
	30日 (土) 夏季休業開始〈～8/19〉

新型コロナウイルス感染状況等により、変更する場合があります。



- ・砺波地区中学校総合選手権大会陸上競技
 - 1年女子走幅跳 2位
 - 3年男子100メートル 7位
- ・第23回富山県小学生バドミントンABC大会
 - C女子シングルス 3位
- ・砺波地区中学校総合選手権大会バドミントン競技
 - 男子団体 1位
 - 女子団体 3位
 - 男子シングルス 2位
 - 3位
 - 男子ダブルス 1位
 - 2位
 - 女子ダブルス 2位

～子供たちの活動の中から～

「おはなしタイム」(1年生)



朝の会の「お話タイム」では、みんなに話を聞いてもらいたい子供が、4つの顔マークから自分の気持ちに近いものを選び、話したいできごとやわけを話します。

この日は、話をする子供が「😊」マークを選びました。「なんでだろう？」と他の子供たちは興味津々です。「お休みにホテルに泊まって家族でお風呂に入りました。遊園地にも行きました。」と話すると「家族と長い時間一緒にいたことが楽しかったのかな。」「遊園地でたくさん遊んだのが楽しかったのかな。」と、相手の気持ちを考えながら話を聞く子供の姿が見られました。話をした子供は、「話をしたら、みんながたくさん聞いてくれてうれしかった。」と大満足の表情を見せました。

顔マークを選び、伝えたい思いを先に伝えることで、聞く子供はどのようなことからそう思ったのか、自分の経験と比べながら共感的に聞こうとします。そして、話す子供もみんなが自分の気持ちを分かってくれたという満足感や安心感が得られます。相手の気持ちを意識して話したり聞いたりする温かい人間関係を築き上げていくように見守っていきます。



自学の時間



今年度の自学の時間がはじまりました。子供たちは、自分で取り組みたい内容を決め、目標をもって活動しています。放課後には、「一輪車が好きだけど、もっと上手に乗れるようになりたい」「英検が近くなってきたから、英語の勉強をしよう」など、次の活動を決めるため、相談する声が聞こえてきます。

子供たちが主体的に取り組むことができるよう、教職員でサポートしています。



プール清掃



6月15日(水)に、全校の子供たちでプール清掃を行いました。子供たちは、プールの中やプールサイドの汚れを、デッキブラシやスポンジを使って落としました。体操服のすそを濡らしながら一生懸命磨いてくれたおかげで、とてもきれいになりました。また、ご協力いただいた地域の消防団の皆様、ありがとうございました。プール開きは6月24日(金)の予定です。

